

佐津っ子だより

香美町立佐津小学校・幼稚園

令和2年12月24日

NO. 12

「未来へ向かい 学び続ける佐津っ子の育成」

～ふるさとに根を張って～（小学校）

～ふるさととつながり『佐津大好き！』な子どもを育む～（幼稚園）

良いお年を
お迎え下さい。



長い長い2学期終わる！！

長い長い2学期がようやく最終日になりました。2学期の終業式をみんなと無事迎えられたことをうれしく思います。

令和2年は新型コロナウイルスの影響でいろいろなことがありました。まず、4月・5月は臨時休業になり、通常通り登校できませんでした。また、始業式、入学式、運動会等が時間を短縮し簡素化して行われました。修学旅行、自然学校も2学期に延期され、期間も短くなりました。学習発表会や授業参観も中止になりました。

令和2年は新型コロナウイルスの影響で、私たちの生活がおびやかされ混乱した年でした。しかし、私たち人間は、このようなピンチをみんなで知恵を出し合い、助け合い、工夫をして乗り切ろうとしています。令和3年は新型コロナウイルスの恐怖から逃れて夢や希望が持てる年にしなくてはなりません。私たち人間にはそれができる大きな力があります。

その人間の力の偉大さを教えてくれた人がいます。それは水泳の池江璃花子さんという人です。彼女は高校までは、数々の記録を打ち立て、世界選手権やリオオリンピックにも出場するなど、とっても活躍していました。しかし、高校を卒業する直前の2019年1月に、オーストラリアでの水泳合宿中に体調不良を訴え、検査の結果、血液の癌といわれる白血病にかかっていることがわかりました。池江選手は間近に迫った東京オリンピックをあきらめ、長い闘病生活に耐えがんばってきました。そして現在は、2024年に開催予定のパリオリンピックの出場を目標に頑張っているそうです。先日、なんと594日（約1年7か月）ぶりに水泳大会に出場できたそうです。結果は、5位だったそうですが、その後、自分で決めた目標タイムを次々に達成していき、見事、復帰を果たしています。池江選手のやり切った喜びの涙と笑顔は、苦しみと希望を夢に変えた一流選手の姿でした。人間のすごい力を感じました。

みんなも同じです。どんなに苦しいことや辛いことがあってもあきらめずに自分の力を信じて頑張っていけば、きっと、どんな困難も乗り越えていけないものはありません。

今度みなさんと会うときは、令和3年という新しい年になっています。令和3年は苦しいことや辛いことがあっても、どうか夢と希望を持ち続け、みんなが笑顔で過ごせる年にしましょう。（終業式の話から）